

ONCC 10 期 ぶらっと散策3 第2回探訪

清酒発祥の地～鴻池公園～荒牧バラ公園

探訪日：2022年5月19日（木）、時間：集合 9時45分～解散 13 時頃

場所：伊丹市（鴻池、荒牧）、天候：晴れ、参加者：受講生 39 名 CA3 名 計 42 名

ガイド：伊丹市文化財ボランティアの会（5 名）の皆さま

今日は2回目の探訪で、先週に続き伊丹です。ルートは、阪急伊丹駅⇒バス⇒<ボランティアガイドの皆さまの案内で> 鴻池・・・清酒発祥モニュメント・・・<2 グループに分かれて> 鴻池神社・・・慈眼寺・・・<全員纏まって> 鴻池稲荷祠碑・・・鴻池第一公園（トイレ休憩）・・・容住寺・・・天日神社・・・<ガイドさんと別れて> 荒牧バラ公園「解散／昼食」後、班行動です。

- (1) 集合後、スタート地点へ移動（市バスが超満員に！ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。）



阪急伊丹駅 9:45 集合



⇒2 番荒牧バラ公園行きバス停



⇒ 鴻池バス停下車

- (2) 鴻池の清酒発祥の地モニュメント（山中氏(後の鴻池家)はこの地で酒造りを始め鹿之助の長男 新六幸元が慶長5年(1,600年)に双白澄み酒（清酒）の製法を発見した。生誕440年記念碑）



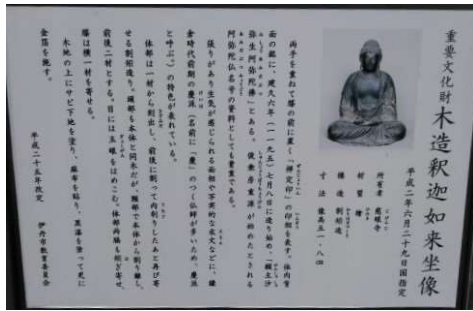
- (3) 鴻池神社（参道入り口の石燈籠、境内の手水鉢、本殿：一間社流造り、柿葺き屋根、蛙股・木鼻などの彫刻、旧石鳥居等々、説明を受けた木製の狛犬を探したが残念ながら発見できなかった。）



(4) 慈眼寺（真言宗から曹洞宗に、本尊の木造釈迦如来坐像(慶派の仏師作)は伊丹唯一の国重要文化財)



山中新六幸元翁他の墓



(5) 鴻池稲荷祠碑（花崗岩の亀型台石の上に中国古代貨幣の形の碑に、鴻池家や伊丹の歴史の手掛かりとなる 405 文字の碑文が刻まれている。懷徳堂教授 中井履軒の書）



(6) 鴻池第一公園（トイレ休憩、西池・黒池）



途中にあった摂津川辺郡鴻池村全図(明治 12 年)

- (7) 容住寺（ここから荒牧です。聖徳太子が中山寺へ往還された時に靈感を感じお堂を建立されたと伝わる伊丹唯一の天台宗古刹。門前には駒つなぎの松、境内には太子腰掛石など）



- (8) 天日神社（荒牧の氏神さま、祭神は天忍穗耳命(アマノホミミコト)。尼崎藩領界石、地車(ダンジリ)）



ガイド終了のご挨拶、2週に亘り ありがとうございました！！

全員で分担された詳しい説明に加え、飛行機の騒音対策で常にマイク・スピーカーを使用され、さらに説明を中断される配慮や、個々人からの質問にも丁寧に対応いただきありがとうございました。本ボランティアの会のご活躍とご発展を祈念します。

(9) その後も迷子にならない様に(笑)、ガイドさんに案内されながら荒牧バラ公園を目指して移動。



おまけ！ 聖徳太子 香之藪碑



交差点まで案内頂き、一路バラ公園へ

(10) 荒牧バラ公園（1.7ha の園内に世界のバラ約 250 種 1 万本！、散り始めていたが幸運にも何とか満喫できた。解散、昼食後は班活動）



(11) 好天に恵まれ、皆さん元気に約 1 万歩を歩いた一日でした。

2 週続けてボランティアガイドの皆様には大変お世話になりました。CA さんから無償と聞き、本当に感謝！感謝！です。ありがとうございました。

企画・実施いただいた CA の方々お疲れ様でした。ありがとうございました。

——— ブログ担当：2 班 ———

なお、解散後の班行動ですが、2 班は全員揃って懇親会で疲れを癒しました。

